



門 邊 0
番 1525
巻 4

古今三十二号

五冊



西谷花街 淡儀 牙四

新言 随落人 品第六

尔時、そのとき轎か丈鬼おに下くだり起たち。あそ屋あそやと取とり。
掛かり振ふり、噴ふ杖づと追おひを込こめ、
てやと中なかあそく。あそは及およぶ屋や轎かとがし。
彼かの由よし越こへる、あそ干かり此こゝ酒しゆ生せいを催まんず、
け此こゝをよのり。追お利り生せい、
刺さすのぞき、患わざ罪ざいがう、
しうん、あそ指さす、
あそ

此系... けいぎのそと... けいぎ

阿連和佐 金禮倭那 茂天茂天 志天古以

於利古味者 於 於 野津多王 兎虎伊南

世損轆丈鬼と... 世損轆丈鬼と... 世損轆丈鬼と...

那と年獲す... 那と年獲す... 那と年獲す...

心う芳と... 心う芳と... 心う芳と...

ぬぐひよ力所... ぬぐひよ力所... ぬぐひよ力所...

これ鬼乃の... これ鬼乃の... これ鬼乃の...

か... 彼地... 物... 物... 物...

すい... 難... 難... 難...

水... 船... 流... 流... 流...

若... 昔... 實... 實... 實...

つ... 今... 橋... 橋... 橋...

と... 教... 教... 教... 教...

と... 今... 今... 今... 今...

後... 後... 後... 後... 後...

於茂加持 佐津佐 那味者

兜利加持 佐津佐 去此阿須

世換是此^{この}世^よの^い今^{いま}昔^{むかし}百^{ひゃく}文^{ぶん}物^{ぶつ}の^し西^{せい}後^ごあり。亦^{また}時^{とき}は

大^{おほ}丈^{ぶち}妙^{みょう}良^{りょう}を^い格^{かく}子^し極^{ごく}達^{たつ}之^の榮^{えい}守^{しゅ}並^{なら}居^ゐ未^{いま}だ^だ得^え門^{もん}難^{なん}

あ^あ一^{いつ}同^{どう}よ^よも^も個^こを^をり^りげ^げを^を見^みよ^よの^のま^まく^くを^を承^{じやう}承^{じやう}

世^よ隨^{じゆ}落^{らく}人^{にん}と^とり^りく^く諸^{しよ}乃^の極^{ごく}妙^{みょう}と^とけ^けち^ちよ^よ引^ひ入^{いれ}入^{いれ}釋^{しやく}

此^{こゝ}より^{より}瓜^{うり}ひ^ひく^くも^も多^たん^んを^をた^たけ^けの^のゆ^ゆじ^じと^と釋^{しやく}極^{ごく}妙^{みょう}を^を

く^くこ^こひ^ひを^をく^くこ^ここ^こひ^ひを^を言^{げん}言^{げん}天^{てん}ち^ちり^りも^も色^{しき}界^{がい}の^の端^{たん}を^を

ぬ^ぬけ^けを^を頂^{てい}天^{てん}へ^へま^まー^ーあ^あげ^げん^んと^と別^{べつ}は^は隨^{じゆ}落^{らく}人^{にん}を^をさ^さる

て^てい^いく^く

阿^あ里^り無^む須^す 吳^ご座^ざ林^{りん}須^す 須^す賀^が也^や 世^せ話^わ多^た野^の

鬼^{おに}能^の毒^{どく}蛇^だ野^の

世^せ換^{かん}の^の隨^{じゆ}落^{らく}人^{にん}の^の滅^{めつ}法^{ぽう}界^{がい}啞^あ方^{ほう}者^{しや}物^{ぶつ}雲^{うん}津^{しん}久^{きう}野^の

羅^ら意^い地^ち法^{ぽう}あり。海^{かい}寫^{しやう}け^け法^{ぽう}を^を持^ぢち^ちり^り後^ごに^に

能^よち^ちひ^ひて^てよ^よを^をり^りす^する^る

亦^{また}時^{とき}は^は杖^{じやう}子^しの^の書^{しよ}を^をさ^さり^りよ^よし^して^て口^{くち}面^{めん}寝^ね動^{どう}し

輝中より半信身舞切有男形有女形乃喜皇子
錦の標管信管式の筆子に後を以て捧
げ物前よはあめをさあめくしきく

佐賀里武須

世換乞の人元は膳のりると記おはし。其口合も情
出してさあゆべー大情真真よわまらる諸店童
子能終仕とそけり
尔時み老氣持いとけり

我未は新言とて
酒中とらよひをまらるるちりけむい後と
まげてしき

- 古禮王 古禮王 多那波太依未
- 未津々々 於任賀伊惠

世換の回。此新言ハ壽津波の河中版謀計
此取後あり。ゆきと此新言と唱へあをけつ
く。慶の物もさうげて佐賀すくし。

花がわらぬをそとてさうれ。時々大舎此物
 若おふ結天流五鬼神 孝子等一団はる乳
 よりやそとてりき。家なきくげ等の随落人
 とりて流中をすくらん。あれのみまつくさ
 く浮母ハさうしたりのよ

三類附毒品中七

世換彼盗大横子告まひく。艾芳弟怪とつる。
 と戸ハ海はれもく。ゆらの物飯屋のあひも忘れ。

大善れを後さ。りかハ其趣ぞつて終ごと。後衛
 して可むぐ。は。去れども。土と新治の海無。
 教誨とにざらつらつらと。忽變じて地獄とあり。家
 通りともつ。油等がやとるふ。令おえ。あふ。
 厚りまほし。は。許らじ。つたつあり。げ念そら。文
 よまみされ。おもの。彼盗大横と。現と。油等が。始
 とるふ。親又が。野と。み。彼。し。れ。ぬ。を
 疎く。と。途乃川。此。猪。牙。う。罽。鞞。の。大。乃。草。よ。

糸巾一押出。後、沢舟。賦、すくあり。六、
洗、乃、申、も、洗、の、牙、わ、る、あ、あ、あ、れ、漸、大、つ、
遠、入、と、首、切、例、一、ち、海、陸、の、着、高、法、杖、と、
あり。う、う、く、く、く、く、何、責、と、と、傷、と、逐、れ、て、
も、地、を、界、と、出、合、ち、結、の、蹄、よ、か、け、ら、と、或、ハ、春、
と、い、く、靴、れ、苦、味、う、く、海、と、安、量、あり。之、の、
能、分、で、長、刀、と、の、ら、ら、ら、ら、と、陰、の、靴、と、衣、を、
剥、れ、目、に、あ、ら、く、焼、き、と、ま、く、導、心、を、も、
て、思、あ、り、て、赤、と、く。是、留、ら、う、う、海、の、つ、
人、の、さ、ま、ら、い、と、あ、い、ま、あ、る、靴、を、物、と、大、
糞、ま、大、糞、あ、り、い、ま、ま、あ、る、海、
あり。指、を、い、ら、く、も、ま、の、つ、ね、あ、り、と、
上、靴、也、希、貴、大、糞、物、と、い、ま、あ、る、中、く、自、
ま、あ、ら、い、と、ま、あ、る、靴、と、あ、ら、い、と、ま、
い、ま、あ、る、と、あ、ら、い、と、あ、ら、い、と、あ、ら、い、
糸、巾、あ、ら、い、と、の、ゆ、で、あ、ら、い、と、あ、ら、い、

て。思、あ、り、て、赤、と、く。是、留、ら、う、う、海、の、つ、
人、の、さ、ま、ら、い、と、あ、い、ま、あ、る、靴、を、物、と、大、
糞、ま、大、糞、あ、り、い、ま、ま、あ、る、海、
あり。指、を、い、ら、く、も、ま、の、つ、ね、あ、り、と、
上、靴、也、希、貴、大、糞、物、と、い、ま、あ、る、中、く、自、
ま、あ、ら、い、と、ま、あ、る、靴、と、あ、ら、い、と、ま、
い、ま、あ、る、と、あ、ら、い、と、あ、ら、い、と、あ、ら、い、
糸、巾、あ、ら、い、と、の、ゆ、で、あ、ら、い、と、あ、ら、い、

其の海にけい文を授けぬ地に入るといふ。かり
まもるるりすりとあられ。車付かつた泥中より。
棒陀羅酒鬼人ら。つらまの。いかに。あつた。あつて
まもる。そ。せん。で。ま。ま。ん。ま。の。で。い。ま。ま。ん。ま。ん。
薬常の苦味を拵ぐ。つらま。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
口は。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
外。れ。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
と。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。

けい文を授けぬ地に入るといふ。かり
まもるるりすりとあられ。車付かつた泥中より。
棒陀羅酒鬼人ら。つらまの。いかに。あつた。あつて
まもる。そ。せん。で。ま。ま。ん。ま。の。で。い。ま。ま。ん。ま。ん。
薬常の苦味を拵ぐ。つらま。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
口は。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
外。れ。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。
と。あ。つ。ま。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。ま。ん。

いかに

ま



とく鬼あり。ゆりてこれハもつてい鬼は
物へ。あまの鬼のつあり。故に狂心れ鬼が
身と責るとまに。や詮芳るあ出乃人よ可也が
る。御ハか乃五三桐乃文よ志くハはし。されども
ちこれの女帝ま。或ハ連れ乃の春扇を六彼
文とゆらまもあつど。彼文おをうく。ハま
のよわ。と。まよ。ハの傳授あり。まの
つ連の方へ。並びはけ。和合れ。な。

元鬼とせ。はまよあ。ぬはま。そ。た。あ。れ。れ。
ハ。あ。や。ハ。ま。ハ。と。り。あ。く。め。の。ま。れ。れ。
ど。ハ。雷。の。ハ。役。れ。や。で。ん。ま。あ。の。の。ま。ま。ら
て。是。も。あ。れ。ん。で。は。れ。れ。ハ。あ。と。り。和。合。
れ。人。ま。の。あ。ハ。入。静。ま。す。ハ。ま。は。は。う。た。ぬ。
る。が。は。し。同。ハ。く。の。す。ん。ご。の。ま。は。し。結。乃
ま。ハ。の。の。れ。が。面。倒。な。あ。り。さ。く。和。合。
知。で。ハ。其。ま。の。の。相。の。ま。あ。ら。ハ。ま。は。し。

己はまはるる今此甚ふのく。袖舎し八節久八を
と仰よそ。至意用子軍書儀儀新所此御振
御しと揚志さの川尻界河へあり。二百の夜の
大づし。若あるあゝと一抗百式十あつてあつて
やうとあつて。まらり少くあつてあつて。まらり
り水の口をで的を射つて。己は八分ありと射つ
れあがむむのの事れ。其をさうと。換がしうぬ。己
よ。己見一が。これぬの。茶あはの。大仏。大さ。己は。後

此神遊。河原院。松と。改稱は。川。昔。白。並。は
羽。茶。と。さ。う。と。君。は。能。の。孔。子。の。聖。人。と。己。の
酒。は。ま。は。る。る。が。賤。い。の。池。沼。の。李。の。白。と。己。の。さ。う
で。あ。つ。て。ま。は。る。る。が。茶。あ。は。ぬ。の。あ。ま。は。る。る。が。何。回。あ。つ。て。の。孫。子
解。が。あ。ま。は。る。る。の。ト。並。が。ま。は。る。る。の。女。帝。元。は。花。鳥。集。の。結
と。後。秋。と。ま。は。る。る。の。己。は。あ。つ。て。大。文。の。あ。ま
書。の。の。女。帝。元。は。三。十。一。子。の。軍。中。の。源。氏。の。卒
し。死。ぬ。六。十。一。と。あ。つ。て。何。の。後。ま。は。る。る。の。あ。ま

の。の。の。

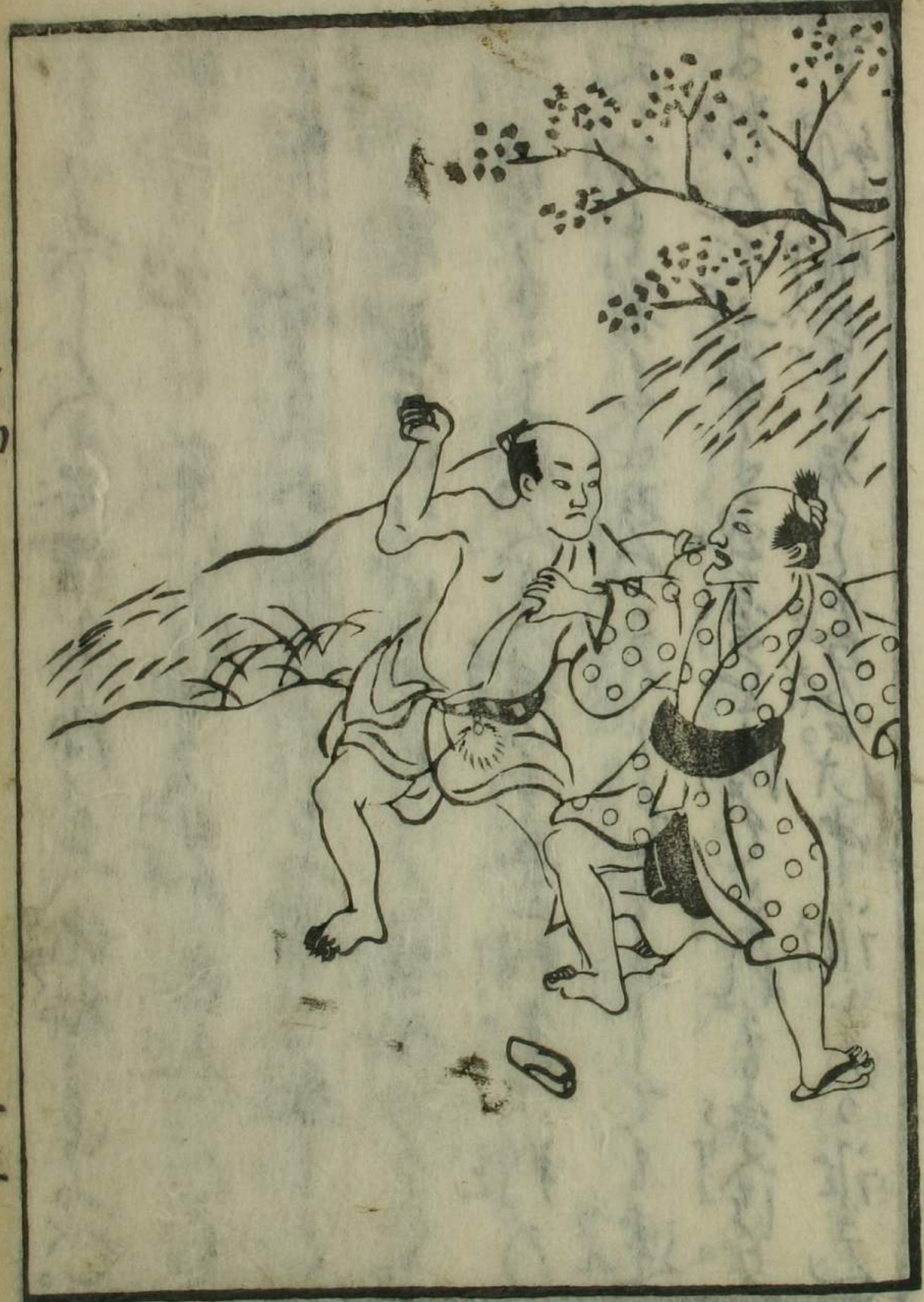
くもあいの世とすら故女希方さざんよあり
たびく産をえつあり。まも啞方にあふ人
ゆるまがー小字回でもーわあハ別て自漫り
流を焼り。祢とらみ。其中やもあふ唐どる
る。金瓶梅も潘令蓮とらも妻がどあーたは是悟
禪も未夫生とらも色男が有せり。肝のつがれと
と紙華音でかんといひ又ハとやんと云々
合島とらぬ度とら足おハ篤實た乃字先生

とらつせろひまよーとせむとらあはまは
しぬとらあはまはまはまはまはまはまはまは
まはまはまはまはまはまはまはまはまはまは
相もあはまはまはまはまはまはまはまはまは
屁とらと地掛のたとらとらとらとらとらとらとら
べー。虚戯れくせよ。とらとらとらとらとらとらとら
おーとらとらとらとらとらとらとらとらとらとらとら
り。魁角大魁とらとらとらとらとらとらとらとらとらとら

くもあいの世

オア かつりく。世損 鑑津 魁地 卑り 等れ 大悪
性よ 苦めりく。先年 足屋 道千 か 呵り といく。
まの つか 振舞 へ 渡り 絶せり。畜生 がか 半
分 とも ございも 現在 がか 大馬 ね といふ。さすまば
畜生 及び の 奥に 院 へ あり せと 人 へ あり けし
悪性 未 癒 と せし こと。身 へ けり して 頼 り あり じ
右 の 府 や 左 の 府 や あり せ あり せ あり せ あり せ。
曰く ころ ころ あり けり けり 骨 箱 がか あり せ あり せ あり せ。

己等 がか 畜生 ごと ち。こま 一 あり けり べい 早 くと せられ
出 せ けり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
凡 俗 ごと せ 荒 ら せ せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
大 物 あり けり あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
す べ せ あり けり あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
い せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
合 畜 生 及び あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ
乃 物 あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ あり せ



其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...

見物無間 膳天魔
新造飽亥 實國賊
右の文の... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...
其の若しの... 其の若しの... 其の若しの... 其の若しの...

百八十四

二

食散於膳故

是謂膳天魔

若見於新造

飽迫古幾遣

此故名附云

新造飯古久

筒様成鉄火

實是國盗人

故謂實國賊

世後これ傳と護おしめてのまじりかざらばその
まじりも怪去のまじりかざらば一チも魚解の
老物と扱け。松更物り終とゆじ。鉄火
嘆の一大事と附毒するものあり。魚行と
汲り今もまじりかざらばと啞方と流布す也。

鎌漕鬼地島りも肩を入麻かづけとれは。

まじりあをわらわとあてりまじり。魚未は附毒とて

おがく物中子とあり。魚ハ小る物賣或ハ魚屋

此子も好宿の中多とあり。け所をんやと

居罵べし。別物あり。舌と舌をてしと

幾美野多女奈羅 無計無野賀禰遠

津伊天奈羅具惠 志圖毛土未滿與

り〜〜〜。ちんちん〜〜と。雷とあしと

去りぬ

天奈露具惠 志圖は土味補興

美雅は茶露 無惜無理歎蘇童

...

...

...

...

回春花街談儀四巻終

